

## 6 楠グリーンテニスクラブ歴友会 5月行事

### 楠グリーンテニスクラブ歴友会の飛鳥、古代歴史の旅

楠グリーンテニスクラブ歴友会の5月行事は、新緑に囲まれた季節に古代日本の中心地であった飛鳥を訪ねる旅を計画した。バス旅行よりは、電車の方が便利ということで鉄道の旅となった。

橿原神宮駅から飛鳥駅間の飛鳥の地を、レンタサイクルで回る計画をした。まず神武天皇の「橿原神宮」へ次いで楽しみにしていた蘇我一族の「甘樫丘」へ、結構高地だったのは権力者として城郭を意識した邸宅だったのではないかと思った。次は大化の改新に関係する「飛鳥板蓋宮跡」、何もないのが想像をたくましくさせるね。観光の目玉「石舞台古墳」は、小学生で溢れていた。最後に有名な「高松塚古墳」を訪れ、隣の壁画館で極彩色の壁画を鑑賞することができた。壁画館を出た途端、雨に降られて逃げるようにペダルを踏み、飛鳥駅に飛び込んだのだ。コンビニのかっぱを持ってくればよかったと反省の弁しきり。



一度行ってみたいと思っていた「橿原神宮」の表門に到着。  
神武天皇を記念して明治23年に創建された神宮。神妙な4人



京都御所の賢所を移築したといわれる本殿に向かって歩く2人。  
足元の玉砂利の音がすがすがしい。



橿原神宮から自転車で移動。飛鳥時代の権力者、蘇我蝦夷、入鹿  
親子が豪壮な邸宅を構えていたといわれる甘樫丘に到着。バックの  
山は敏達山、ここも一度登ってみたいところ



標高148mの甘樫丘から蘇我入鹿はどんな思いで眺めていたか  
をしよう。今は研修旅行で来たといふ親子の食事タイムです。  
背景の山は左、甘樫山、右、天香矢山となり、飛鳥のど真ん中



